



令和 7 年 10 月 23 日
海 上 保 安 庁

JICA 課題別研修「救難・環境防災コース」を開講 ～シーレーン沿岸国の海上保安能力の向上～

海上保安庁は、令和 7 年 10 月 28 日（火）～12 月 5 日（金）の間独立行政法人国際協力機構（JICA）の枠組みの下、JICA 横浜とともに海外の海上保安機関職員等を我が国に招き、参加国の海上保安業務（救難・環境防災）の能力向上を目的とした、JICA 課題別研修「救難・環境防災コース」を実施します。

1 研修概要

本研修は昭和 57 年から実施されており、海上保安実務者として必要となる、海難救助をはじめとする海上で発生する事故・自然災害への対応、海洋環境保全に関する知識・技能について習得すること目的として実施され、今回で 43 回目の開催となります。

2 研修日程・場所（場所については、海上保安庁施設に関するもの）

日程：令和 7 年 10 月 28 日（火）～12 月 5 日（金）

場所：海上保安庁本庁、海上保安試験研究センター、海上保安学校宮城分校、第二管区海上保安本部、横浜海上防災基地、仙台航空基地
他

3 予定参加国及び人数（13 か国 16 名）

アフリカ 地 域：ジブチ1、タンザニア1、マダガスカル1

ア ジ ア 地 域：スリランカ1、ベトナム1、インドネシア1、フィリピン3、
マレーシア2

大 洋 州：パラオ1、ソロモン1、ツバル1、サモア1、マーシャル1

4 主な研修内容

- ・ 搜索救助、海上防災及び環境保全等に関する講義
- ・ 海上保安庁施設の視察
- ・ 搜索救助及び海上防災に関する訓練

【参考】過去の研修状況



救難模擬訓練

※ JICA 課題別研修

課題別研修は、日本側が研修内容を企画・計画し、開発途上国に提案する研修です。日本が有する知識や経験を通じて途上国が抱える課題解決に資するよう、国内の多くの関係団体と連携しつつ実施しています。病院管理のノウハウ、地方自治制度、また伝統的な農業技術から最先端の科学技術に至るまで、多岐に亘る分野をカバーしています。（引用：JICA ホームページ）

海上保安庁では、海上犯罪取締り、救難・環境防災、海図作成、海上交通安全の研修を行っています。